

長崎ほいくだより

No. 229
2014.11

発行人 谷川和啓
編集人 中一秀彦
購読料 55円

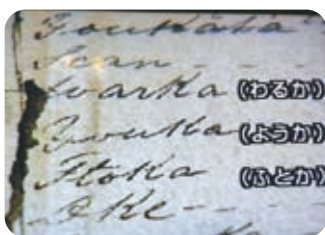
発行：一般社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871



さて、最初の英和辞書では「英語の日本語訳が長崎弁だった」ということをご存知ですか？日本が鎖国していたころの話です。北海道沖で操業していたアメリカの捕鯨船から小さなボートがおろされ、一人の青年が遠くに見える陸地に向けて漕ぎだしました。彼の名はラナルド・マクドナルド。スコットランド人の父親とネイティブアメリカンの母親との間に生まれたアメリカ人です。

母方のチヌーク族の言い伝えで、先祖は遠い西からやってきたということを知った彼は、自分のルーツ探しを決意して、当時の欧米社会には神祕の国だった日本に密入国したので。上陸してすぐ役人に捕まったマクドナルドは長崎に護送され、いまの諏訪神社の近くにあったお寺に軟禁されました。通訳を担当する侍達は、オランダ語は得意だったものの英語を喋ることが出来ませんでした。彼らは、オランダに替わって世界がイギリスやアメリカの時代になったことを知らなかったのです。外交には英語が必須であることを知った彼らは、マクドナルドから英語を習うことにしました。マクドナルドは期待に応え、侍達に熱心に英会話を教えました。いつの間にか、彼は侍達が話す日本語の英訳集を作ったのでした。これが、おそろく日本で最初の英和辞書になりました。マクドナルドの対訳集は刊行されず、欧米に広まることはありませんでしたが、その原本はカナダ・ブリティッシュコロンビア州の公文

書館に残されています。私は実物を手に取り、びっしりと墨で書かれたアルファベットを読んでいき、驚きました。日本語訳が長崎弁だったので。例えば、Good: Youka, Bad: Warka, Large: Ftoka, Dark: Kuraka, 等々。でも、そうでしょうね。彼が接していた侍達は長崎の人間ですから、マクドナルドが覚えた日本語は長崎弁だったんです。あのまま対訳集が刊行されていたら、ひょっとしたら長崎弁が日本を代表する言葉になっていたかも知れませんね。



言葉と気持ちと
さて、標準語と方言をどのように使い分けたいのだろうか考えることがあります。テレビの仕事を通して思ったことは、物事を考えている事柄を論理的に伝えるには標準語の方が便利なのように思います。でも、感情や微妙な気持ちを表すには、やはり長崎弁がいいようです。

家族をつなげる方言
このように、方言は私たちの感情表現にとって大切な言葉です。また、長崎市でも地域ごとに微妙なイントネーションの違いがあつて、それらをひとくくりに「長崎弁だ」と言うのはちょっと乱暴かも知れません。いろいろな長崎弁があるのが当然です。今回、私達が作った「長崎弁かるた」は、長崎県内各地の方言で構成されています。五島弁もあれば島原弁も対馬弁もあります。「かるた」ですから、例えばお母さんが「そいぎんた佐世保バーガーでも食べに行くな」と「読み札」を読み上げると、子ども達は「それじゃ、佐世保バーガーでも食べに行こうか？」と標準語に訳してある「取り札」を探するという趣向です。付録のCDで発音を確認することも出来ます。当社のアナ



この号が出るころには、がんばらば国体が既に終了しており、多くの長崎県選手の活躍が見られたことと思います。また、多くの県民の皆さんが「おもてなし」の心で県外のお客様を歓迎され、大いに長崎県が盛り上がったと思います。スポーツつながりでこの原稿を書いたのは、錦織選手が全米オープンテニスで見事準優勝したときです。その大会後に長崎新聞に「常識を超えた発想が真骨頂」(文・小沢剛氏)という評論が掲載されました。特に目を引いたのは、元全日本王者の福井烈氏が「錦織選手は小学生のころから天才的。ミスが増えるが完全性を強いコーチが多いが、指導者が型にはめず、そのひびび育てた成果だろ」と語っている。型にはめては自由な発想は生まれにくい。自分で考え、試して、身につけていく。遊びだからこそ、多彩なプレーにトライできる。そして「何より大事なことは楽しむ感覚だ」という記事でした。この記事を読んで、これは保育と同じだと思いました。保育所保育指針には、「子どもは環境に働きかけ、環境との相互作用を通して育つこと。『主体性』『自覚性』といった言葉が多く使われています。共通している点は、子どもの主体性を肯定している点です。子どもは大人が指示しないと育たないと思う人に育てられると、その大人の力量以上に育ちにくいはず。だからこそ、私達は子どもの力を信じ、子どもの人格を尊重し、子どもの発想、意欲を大事に育てたいと思います。」

YOUKA WARUKA
「家族で遊ぼう「長崎弁かるた」」
BATTEN SITORASU
方言のすすめ

後テレビ長崎 事業部長
山本 正興
テレビディレクターとしてワイドショーやドキュメンタリーを制作してきました。映像と音声で番組を作り上げるプロとして、今も言葉に大きな関心を寄せています。「長崎弁かるた」でどうぞ遊んでください。きっと楽しいはずです。

虹
この号が出るころには、がんばらば国体が既に終了しており、多くの長崎県選手の活躍が見られたこと

長崎ほいくだより

発行：社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

購読料 一 部 55円

続きは、お買い求めいただきご購読下さい。
お問い合わせは、保育所(園)または長崎県保育協会までお願い致します。

2ページ目以降の内容をご紹介します

■ つれづれ

園長先生等のリレー式コラムです。保育に対する思いや考えなどを文章にしています。

■ 保育のひろば

● 地域との交流

各保育園の近隣の交流状況など画像を添えて紹介します。

● ランチタイム

給食やおやつ、食育等の取り組みを情報提供致します。

● 保育園めぐり

県下の保育園を地区別に順番で紹介しています。

■ すこやかなそだち

保育の専門家が、プロの視点で子育てに関する様々なテーマに基づいて書き下ろす連載コーナーです。

■ 読者のひろば

子育ての思いやエピソードなど地区別の保護者に書いていただくコーナーです。

■ であい

保育士に保育に対する質問を投げかけそれに答えるコーナーです。

■ ZOO夢イン 家族のお出かけスポット情報

編集部一押しの地元のお出かけ情報です。家族向きのお出かけに参考になります。

■ つぶやき

■ わんぱく写真館

子ども達の日頃の保育園における活発な活動の写真を掲載しています。

■ え?!絵本

子ども向けのおすすめ絵本です。わかりやすく解説しています。